

— 自然と歴史を感じる島 —

志賀島

海の中道と陸続きの、
1周約11キロの志賀島。
豊かな自然や美しい景観を楽しめるほか、
古人の文化に触れることができる。
レンタサイクルもあるので、自転車での
周回もオススメ。

🚲 オススメコース

(総距離：約11 km)

- スタート 渡船場
↓ 自転車で約7分
① 金印公園
↓ 自転車で約15分
② 勝馬海水浴場
③ 沖津島(沖津宮)
↓ 自転車で約15分
④ 二見岩
↓ 自転車で約7分
ゴール 渡船場

別ルート

《山越えルート》
勝馬海水浴場
↓
潮見公園
↓
志賀海神社
坂道の連続だが、
木漏れ日を浴びな
がらのサイクリン
グは心地よい



イソヒヨドリ
岩の上で美声で
さえずる♪



磯遊びは
西側海岸
島の西側は波も
穏やかでオススメ！



ホンヤドカリ
磯を代表する右手の
大きなヤドカリ



まずは、海神様の総本社
『志賀海神社』にお参りを！

志賀島の
朝市
(P.09へ)



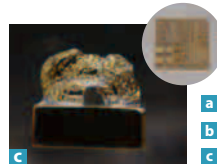
潮見公園
潮見公園を通る山越えルート
もオススメ！
展望台から海の中道を一望



a



b



c

① 金印公園

後漢(現在の中国)が奴国(現在の福岡市を
中心とする国)へ授けたとされる、金印が
発見された場所を記念して作られた公園。
公園には金印のレプリカが設置され、
本物は福岡市博物館で展示されて
いる。

- a 「漢委奴国王金印発光之処」の碑
b 金印公園からの眺望
c 金印(レプリカ)



② 勝馬海水浴場

玄界島が望める海水浴場。海岸は綺麗
に整備されており、周辺の緑の自然も
楽しめる。地平線に沈む夕日は絶景。



d 勝間海水浴場 e 沖津島



f 万葉歌碑(志賀島周辺に10か所あるうちの1つ)

③ 沖津島(沖津宮)

沖津島(沖津宮)は、普段は海に浮かん
で見えるが、大潮の干潮時には長靴を
履くと島まで歩いて渡り、参拝するこ
とができる。

④ 二見岩

三角形の岩が二つ並ぶ二見岩。片方には
空洞があるため『めがね岩』と呼ばれる
ことも。『竜宮瀬』とも言われ、浦島太郎
と乙姫が出会った場所とも言われている。



g 二見岩



h



i ウミウ(二見岩の上によくとまっている)

食 志賀島の『海鮮丼』

その日によって異なる獲れたて
新鮮海鮮丼は絶品！いくつもの
お店があるので、港町の恵みを
ぜひ味わってみては。



ちょっと
一息

磯の生き物観察をしてみよう！

志賀島には立ち入りやすい磯(岩場)があるので、
磯遊びをしながら生き物観察をするのもおもしろい。
岩のすき間や潮だまりに貝やカニ、イソギンチャクなど
が隠れている姿を探してみよう。安全に十分注意して、
観察を楽しもう！(観察後は海へ帰してあげよう)



イワガニ
イトマキヒトデ

生の松原・ 長垂海岸

博多湾と能古島が一望でき、歴史あるクロマツの防風林、元寇防塁が見所。
海岸までは下山門駅・今宿駅どちらからでも徒歩10分程度とアクセスもよく
夏は家族連れで賑わう。夕日のスポットとしても有名。

オススメコース

(総距離：約5km)

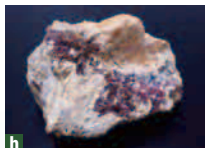
- スタート 下山門駅
↓ 徒歩3分
- ① 壱岐神社
↓ 徒歩10分
クロマツ林と砂浜を
楽しみながら散策しよう
- ② 元寇防塁
↓ 徒歩30分
- ③ 生の松原
↓ 徒歩20分
- ④ 長垂公園
↓ 徒歩20分
- ゴール 今宿駅



④ 長垂公園

長垂山のふもとにある公園。この一帯は貴重なリチウムなどの鉱物を含む岩脈が残っており、「長垂の含紅雲母ベグマタイト岩脈」として国の天然記念物に指定され、採掘は禁止されている。
鉱物標本は福岡市科学館で見ることができる。

- ⑨ 長垂公園周辺のベグマタイト岩脈
- ⑩ 紅雲母を含む鉱石
- ⑪ 長垂海浜公園



① 壱岐神社

日本書紀によれば、反乱の罪を着せられた武内宿禰(たけうちすくね)の身代わりとなり、命を落とした壱岐直真根子(いきのあたいまねこ)を祭った社とされる。その参道は生の松原を通り、海まで続く。



② 元寇防塁

鎌倉時代、蒙古襲来(元寇)に備えて築造された防塁。当時は博多湾の海岸沿いを20キロにわたって築かれたと言われている。現存する市内10か所が国の史跡に指定されている。

① 壱岐神社参道から博多湾を望む
② 壱岐神社 ③ 元寇防塁



④ 生の松原 ⑤ サルボウガイ ⑥ 生の松原の夕日

③ 生の松原

古くから博多湾を代表する松原として親しまれてきた、白砂青松の景勝地。唐津街道沿いに、約3キロにわたってクロマツ林が広がり、防風・防潮などの効果で人々の生活を守っている。



砂浜で遊んでみよう!

砂浜もよく注意してみると、カニなどの生きものが暮らしている。また、砂浜にはたくさんの貝殻や海藻が打ち上げられているので、ぜひ手に取って観察してみよう。

